



9月30日  
東地申3号

## 2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ

### 【綾瀬運輸区】団体交渉を行う！

1. 運転士、平169行路明け場面、車掌・平268行路の明け場面での706Kから643Sまでの乗り継ぎが11分50秒と時間僅少のため、メトロ線からの643S綾瀬到着時間を繰り下げること。

【回答】列車ダイヤの設定は、お客さまのご利用状況や車両運用、設備条件等を考慮して作成している。なお、現行の列車設定を変更することは困難であると聞いている。

(組合) 困難とは。

(会社) 先行列車との間隔が開いていること。また後続列車との間隔がつまるためである。

(組合) トイレ等ゆとりがない。

(会社) 職場から声が挙がっていることは承知している。今後のダイヤの変化で見えていくと同時に、お客さまの流動を加味しながら調整していく。

#### 【運転士】

1. 2020年3月ダイヤ改正で行路が削減され、食事を目的とした乗務の中断（夕食）が16時台や20時過ぎの行路が増えた。これを解消するため、遅日勤を1増とし、早日勤行路と組み合わせ、居流しユニットとすること。

【回答】列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、乗務割交番作成規定に基づき行路を作成している。

(組合) 行路が削減され、食事をしてから23時まで乗務している現実である。特に158行路についてどうにかならないか。

(会社) 158行路については夕食から入区までは長い認識である。職場からも意見を聞いている。

(組合) 組み換えは限界なのか。

(会社) 現場と調整して収まっている。しかし、何も出来ないということではない。

#### 【車掌】

1. 食事を目的とした乗務の中断（夕食）を着着で60分を確保すること。

【回答】乗務割交番作成規定に基づき行路を作成している。

(組合) 運用課としての夕食時間の考えは。

(会社) 30分以上で本区に戻るという認識。夕食の時間をとれるように行路を作成している。

(組合) 特に253行路の食事時間が短い。

(会社) 行路は着・着で考えている。しかし行路の中で多く確保するために、今後検討していく。

#### 【設備】

1. 綾瀬着から次の乗り出しまで本区に戻る時間が僅少であり、一般の喫煙所で密になりながら喫煙をしている。そのため、綾瀬駅の乗務員詰所に喫煙ルームを設置すること。

【回答】駅の乗務員詰所に喫煙所を設置する考えはない。

(組合) 何故、喫煙所がなくなったのか。

(会社) 国が定めている健康法や会社が進めている健康経営を推し進めるためである。

(組合) 健康経営でも目標15%としているが、全てを無くすのはどうなのか。

(会社) 15%は目標である。

2. 松戸車両センター我孫子派出構内、洗浄機付近の通路に雨が降ると水溜りになるため、通路を舗装すること。

【回答】必要な設備の改修は行っていく考えである。

(組合) 雨が降ると通るのも厳しくなる。整備を行ってほしい。

(会社) 現在、調査中であり今後調整していく。